

城山エコミュージアム通信

令和7年(2025)8月15日 第48号

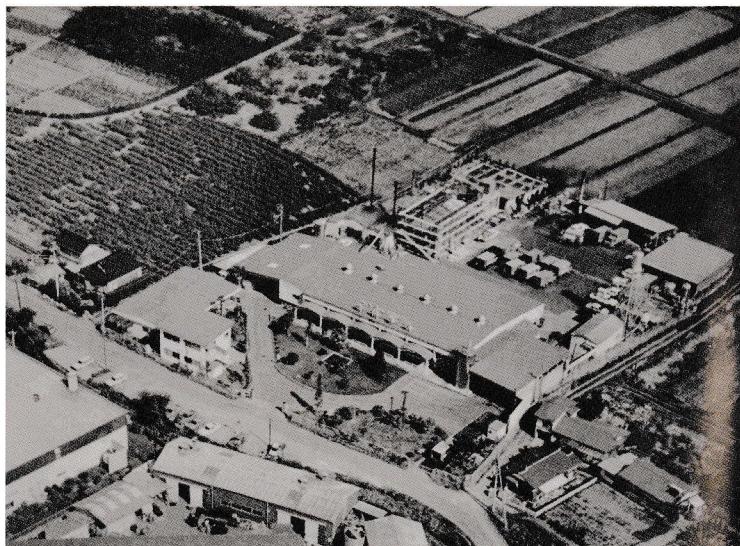
エコミュージアムとは、エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)を合わせた造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方のもとに、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。



広田の牛乳工場～城山の酪農～

城山エコミュージアムの生みの親、故 加藤正彦氏は成分無調整牛乳「農協牛乳」の発売を任せたいわば生みの親でもあります。加藤氏が春林文化第10号に寄せた「津久井の酪農」には加藤家や津久井の人々の牛飼いの様子が詳しく書かれています。現在広田小学校隣の直販配達株式会社は農協牛乳発祥の地で、ここから農協牛乳は全国展開されていました。10の紙容器を使い、濃いオレンジ色のパッケージは発売以来ほとんど変わらず愛され続けています。

大正年代中頃、荒川村の角田福三氏が乳牛を飼ったのが津久井の酪農の始まりですが、戦後に大きく発展しました。しかし旧城山町地域では昭和56年(1981)13戸あった酪農家は年々減り、町屋にあった最後の1戸も数年前に廃業しました。



<牛乳工場全景・農協牛乳発足のころ>

隣の広田小学校はまだ無い



<現在、直販配達(株)>

※出典・参照 春林文化第10号2015年
城山地域史研究会発行
写真集山河幾星霜創立三十周年記念
平成元年津久井郡農業協同組合発行

「津久井郡農協牛乳工場(旧城山町広田の工場)で、「農協牛乳」は昭和47年(1972)6月から日産33トンの生産が始まり、最大時には日量102トン(10容器換算10万2千本)もの「農協牛乳」が生産され首都圏のスーパーの店頭に並んだ。(略)この工場は平成11年(1999)に工場再編で市乳製造を他工場に譲り、物流基地となり現在も稼働しているが、「農協牛乳」を35年間も生産し続けた。一つの‘産業遺産’であると思う。

(平成26年 加藤 正彦 著)

※加藤 正彦：旧川尻村の農家に生まれる。東京農工大学獣医科卒。農協牛乳の企画・開発に中心的に携わった。元城山町長、城山エコミュージアム委員

津久井郡農協牛乳処理施設跡記念碑と碑文



津久井郡農業協同組合
平成十五年十二月吉日

当地に於いて「生産から販売迄を農家の手で」の理想を掲げ、昭和三十七年四月、一酪農民一万円の拠出を基に協同乳業の委託工場として発足した津久井郡農協・牛乳工場は幾多の難関の後、昭和四十七年二月全国農協直販(株)の設立とともに画期的な成分無調整、自然はおいしい、新鮮で高品質な牛乳を供給した偉業は、時代の変遷を越え、この地を故郷へと飛躍する。農協牛乳生産委託工場として新生し更なる飛躍を求め、全国の大空へと飛翔する。

(田畠 房枝)



今回のトピック ■特集「広田の牛乳工場」■城山エコミュージアムのつどい報告
■城山探訪「榛名神社」■しろやまミニ図鑑「トキワツユクサ」■城山検定■活動報告「城山公民館まつり」他■インフォメーション「ツアーのお知らせ」他



令和6年度「城山エコミュージアムのつどい」 を開催しました！

日時：令和7年2月15日（土） 13:30～16:00

場所：城山公民館 大会議室 参加者：38名

[活動発表]

<活動紹介> 城山エコミュージアム委員会の活動主旨と年間の活動内容を説明しました。

<事例発表> 令和6年10月27日（日）行った城山エコミュージアムツアー「穴川の里を訪ねて」～今も残る里山の原風景への紹介をしました。

会場にはツアーや城北・小松地区の写真も展示し、ツアーパートicipantに参加されなかった方にも里山の様子を感じていただきました。



[講演] 「教えて！気象予報士さん、相模原の気候と気候変動」 ～私たちの暮らしは？～

講師：田子 智大氏 相模原市立博物館天文分野学芸員（気象予報士）

‘太陽から絶妙な距離にある地球’という宇宙の視点から始まり地球規模の気候、そして日本の気候と相模原周辺の気候の仕組みや現状についてとても詳しく丁寧に説明していただきました。

参加者のアンケートに「天体・気象・気候、つたない知識で楽しくお話を拝聴しました。さて、地球の将来・人類のために私はどうしたらいいのか？考え込んでしまいます。」とありました。私たちにとって共通の大きな課題ではないでしょうか。

（金子 直美）



※「城山公民館まつり」出展

日時：令和7年3月8日（土）～3月16日（日）

令和6年度に行われた城山エコミュージアムツアー「穴川の里を訪ねて」や城山もみじ学級ガイドなどの活動をポスターにして展示しました。



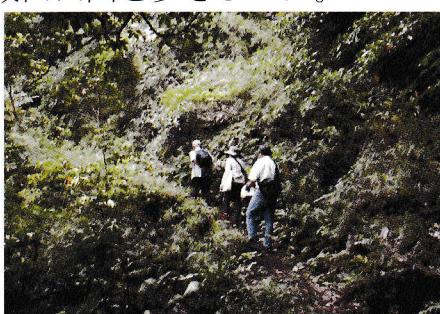
※ 城山エコミュージアム委員会全体会 開催

日時：令和7年4月2日（水） 令和7年度の活動計画が決まりました。

※ツアーダイレクターの下見を実施

日時：令和7年5月29日・6月6日

今年のツアーダイレクターの下見で、津久井湖城山公園を歩きました。

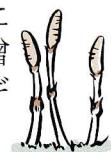


（権守 功 撮影）

※「食べられる野草」（担当：金子 直美）

日時：令和7年4月24日（木）

場所は小松の里。庭や川沿いに生息する食べられる野草を探す研修会を実施しました。採集したタンポポなどを天ぷらに、ノビルはそのまま味噌で食べました。金子さんが用意してくれたヨモギ餅をご馳走になり楽しい時間を過ごしました。



※ 学習会開催 （担当：高橋 告郎）

「神原家について」 日時：令和7年4月2日（水）

藤野町牧野の旧家神原家について説明がありました。

「1871年岩倉・大久保らの使節団が送った電報」

日時：令和7年5月14日（水）

「神崎遺跡について」 日時：令和7年6月4日（水）

トキワツユクサ

(ツユクサ科 別名ノハカタカラクサ)

生態系被害防止外来種に指定されている

5月中旬、横須賀市の武山にハイキングに行きました。登山口近くに咲いていた清楚で可憐な白い花、トキワツユクサとの初めての出会いです。けれど登るにつれ不穏な気持ちになってきました。道の両側はトキワツユクサだけ、その上両側の雑木林の林床も一面のトキワツユクサなのです。2週間後、同じ横須賀市の大楠山に登りました。ここもトキワツユクサの天下でした。

横須賀市のサイトには「除去したもののがんばりは焼却。一部分でもあれば、土に接した部分から繁殖してしまうので、除去したトキワツユクサを落とさないように気を付けて最後まで処理します」と載っていましたが、一筋縄ではいきません。

最近は、城山地区でも見られはじめ、まさに要注意です。 (多羽田 啓子)



原産は南アメリカ。日本には昭和初期に観賞用として持ち込まれ、帰化植物として野生化している。やや湿っている日陰や水辺に生え、群落を形成。草丈は50cmほど。初夏に白い花弁の三角形の花を咲かせる。名の通り常緑なので手強い。

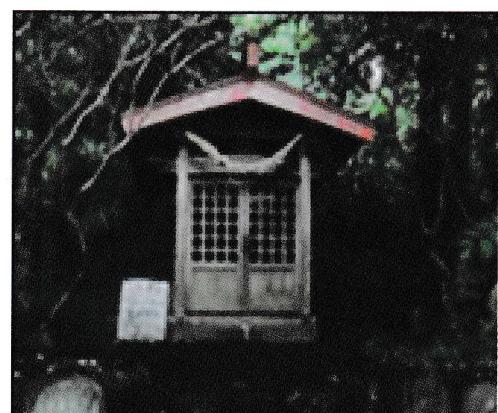


城山探訪 <榛名神社>

現在、榛名神社は若葉台入口左側にある通称水道山の北側中腹に祀られています。当初は久保沢谷戸の奥にありました。昭和49年(1974)に若葉台住宅の造成によりこの地に移築されました。

養蚕が盛んであったこの地では、蚕の食べ物となる桑の葉を降雹(こうひょう)の被害から守る為に祈願をした神社で、祭礼は毎年4月3日に行われていました。

昭和30年代の頃までは、久保沢や近隣の農家から多くの参拝者が訪れたと言います。何時頃か武州寺田の榛名神社から分霊勧請されたものと伝わります。(塩谷 弘道)



<参考：久保沢の昔を語る会 他>

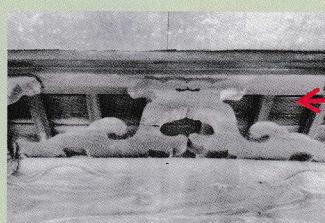


問 題

大正寺桂昌苑(桂昌寺跡)にある鐘撞堂に写真のような形のものがあります。

何と呼ぶのでしょうか？

- ①木鼻(きばな)
- ②鰐口(わにぐち)
- ③蟇股(かへるまた)



⇒解答は4ページ



INFORMATION

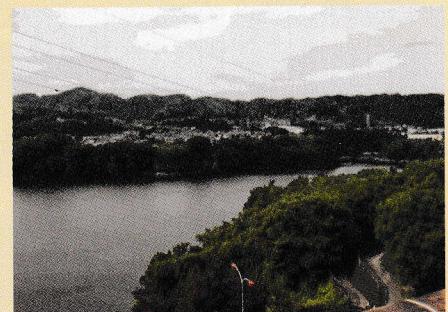
【城山エコミュージアムツアーのお知らせ】

城山を歩こう！ ～津久井湖 花の苑地からパークセンターへ～

津久井城500周年にあたり相模丘中学校の校歌にも歌われる宝ヶ峯（城山）周辺を散策します。

日時：令和7年10月25日（土）9:00～12:00

※雨天中止 ※参加費無料



湖畔展望園路から津久井湖を臨む

◇集合：津久井湖花の苑地

(津久井湖観光センター・緑区太井1274 かなちゅうバス津久井湖観光センター前下車)

<行程：津久井湖花の苑地・江川ヒノキ林・展望デッキ・展望広場・パークセンター・四季の広場・湖畔展望園路・津久井湖花の苑地>

◇定員：20名（先着順）申込期間：9/17～10/22

◇申込・問い合わせ：城山公民館 TEL：042-783-8194

※月曜および祝日の翌日を除いた午前9時～午後5時

主催：城山公民館 主管：城山エコミュージアム委員会

参加者募集



城山検定 解説

答え：③墓股（かへるまた）

墓股は梁（はり）の上に置かれて上方の荷重を支える目的で造られています。形が複雑化したり、彫刻が施されたり様々な形があります。

例として明觀寺本堂正面には寺紋が彫られ、川尻八幡宮と三嶋神社の拝殿正面には見事な彫刻が彫られていますが、残念ながら注連縄（しめなわ）で半分隠れています。（高橋 告郎）



←



明觀寺

参考：日本歴史大辞典（河出書房 昭和31年発行）

小さな自然 発見

庭のキンモクセイを剪定したらなんとヒヨドリの巣と卵が！



◆城山エコミュージアム委員会では常時委員を募集しています。毎月第1水曜日の定例会の見学ができます。公民館へお声がけください。



編集後記

昨年、今年と酷暑が続き気候の変化を実感させられる日々に、

「つどい」の田子氏の講演を思い出し、地球についてきちんと勉強しなくてはと思います。

今年のツアーは津久井城跡周辺を歩き、歴史と自然について考えます。（田畠 房枝）

企画/作成：

相模原市立城山公民館 城山エコミュージアム委員会

発 行：相模原市立城山公民館

TEL：042-783-8194【直通】

FAX：042-783-1721

城山公民館ホームページQRコード



ホームページをパソコンで見る時は

相模原市 城山エコミュージアム

検索